

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」石川県庁前校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			時間帯で指導員の人数のみの受け入れを行っている。個室があり刺激が少なくなるように整えている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			決められた人数配置を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			刺激の少ない室内環境を整えている。事業所内はバリアフリー化されているが、立地が2階にある為、連絡があった時に階段がある事を伝えている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的に情報共有のミーティングを行い、支援の見直しを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今回のアンケートをもとに職員内での周知徹底を行い業務改善につなげる
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所内で評価結果を周知するとともに、評価・改善内容について会社で集約しホームページにて公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は現在行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			会社の発達支援研究所が職員の質向上のための初任者研修・定例研修を実施している。市や県で開催される研修にも参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			見学時にアセスメントをとり子どもの特性や性格等も踏まえて支援計画を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			会社で決められたアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児発管と担当指導員で話し合う事もあるが、定期的なミーティングで全職員でも立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			日々の発達や状況をふまえて柔軟な対応を行っている。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		平日・休日関係なく1時間単位での支援・療育の為、大きく課題を変えることはない。子どもの状況に応じて配慮する場合はある。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別療育であるが、集団につながるための支援も実施。こどもの状況に応じて不定期に行っている小集団のSSTに参加してもらっている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼にて必要な情報共有、連携の確認を行う。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼でその日の状況の確認、次の日の必要事項を確認している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録を取り、支援の検証・改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い支援計画の見直しをすることを定めている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			こどものニーズに合わせて組み合わせをした支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			基本的には児発管のみの参加であるが、子どもの状況によっては直接支援を行っている指導員も一緒に参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者からの要望があれば必要に応じて行っている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在該当者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保護者からの要望があれば必要に応じて連携を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在は該当者がいないが、今後要望があれば行っていきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要な情報の共有や助言をうけて連携を行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	集団イベント時に兄弟児との関りはあるが、プログラムとしては行っていない

連携	⑳	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加はしていないが、機会があれば参加していきたい。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			利用時には必ずフィードバックを行い、情報のやり取り、課題の共通理解を話し合っている。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	家族へのアドバイスや相談に乗ることはあるが、家族支援プログラムとして明確には行っていない。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			その都度相談に対応、アドバイスを送ることも行っている。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			回数は多くないが、ママカフェを開催し保護者様同士での交流の場を設けている。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			迅速に対応している。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ブログに児童の活動の様子や成長の様子を綴っている。また毎月イベント情報等発行している。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きの場所に保管。守秘義務の徹底
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的ツール等活用している。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の方が参加できるようなイベントは実施していないが、パンフレット設置時に挨拶を行い定期的に交流を図っている。
非常時等の対応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを準備、いろいろな事案に対する訓練を月1回程度行っている。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			非常災害に対する定期的な訓練を行っている。
	㉝	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			1年に1回以上研修を行っている。
	㉞	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			運営規定や重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば対応していく体制を整えている。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	支援中に食事をとることがない。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの事例に付いて自事業所の分はもちろん自社提携の事業所の情報も共有している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」石川県庁前校

保護者等数（児童数）：31 回収数：19 割合：61%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	5	1	・遊ぶスペースが狭いのでは ：個別療育を中心としている為療育スペースは個室があり刺激が少なくなるように整えている。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	3		・分からない ：決められた人数配置を行っている。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	9	3	・気にしたことがなく分かりません ：事業所内はバリアフリー化されているが、立地が2階にある為、連絡があった時に階段がある事をお伝えしている。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	16	3		：子どもの特性や性格等を踏まえて支援計画を作成している。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	14	4	1	・始めはばかりでどちらともいえない ：日々の発達や状況を踏まえて柔軟な対応を行っている。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	12	6	・分からない、 ：集団イベント時に兄弟児との関りはあるが、プログラムとしては行っていない。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19			：契約時に説明を行っている。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19			：その時々での情報把握の為に、日頃より情報のやり取り、課題の共通理解を話し合っている。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	2		：その都度相談に対応、アドバイスも送ることも行っている。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	9	4	・分かりません ：回数は多くないが、ママカフェを開催し保護者様同士の交流の場を広げている。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	10		・苦情が今までないのでどちらともいえない ・苦情を出したことがない。 ：迅速に対応している
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	2		：視覚的ツール等活用している。

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	6		:ホームページやブログで発信している。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	18	1		・よく分からない : 鍵付きの書庫で保管している。守秘義務の徹底。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	5		: 各種マニュアルを準備し、様々な訓練を月1回行っている。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	7	1	・分からない : 非常災害に対する訓練を行っている。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	17	2		・先日とうとういきたくないと言いました ・時々行きたくないということもあるが行くと楽しそう : 子どもの状況に応じ工夫している。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	19			: 保護者様や子どもの状態を、担当指導員だけでなく事業所全体で状況把握し、案を出し合いながら支援を行っている。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。